

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学1年	グローバル選抜探究	英語	英語	7
教科書・教材				
主教材：『PROGRESS IN ENGLISH 21 REVISED BOOK1』 エデック 副教材：『PROGRESS IN ENGLISH 21 Book 1 WORK BOOK』 エデック 『PROGRESS IN ENGLISH 21 Book1 音声アプリ』 エデック 『デキタス』 城南進学研究社、『NEW CROWN 1』 三省堂				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>週5時間は『PROGRESS IN ENGLISH』を用いて、授業を行う。そのうち3時間は日本人教員が日常生活について、様々な場面における会話から心情や要点を理解できるようにする。また、週2時間はネイティブとのTT(ティームティーチング)で授業を行う。アクティビティを通じて、登場した表現を使えるようにする。家庭では『音声アプリ』や『デキタス』を使い、音読の量を増やししながら、既習事項の定着を図るとともに、個別最適化を目指す。</p> <p>さらに週2時間はプログラミング・音楽・家庭のイマージョン教育を行う(※イマージョン教育のシラバスを参照)。</p>	
PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Lesson 1 自己紹介・挨拶 [be 動詞] Lesson 2 物の描写 [指示代名詞・疑問詞 (what)・形容詞] Lesson 3 物や人の説明 [複数形・所有格・疑問詞 (who)・指示代名詞] Lesson 4 ペットや人物の紹介 [現在形 (一般動詞)] Lesson 5 どこにあるかを伝える [前置詞] Lesson 6 命令・勧誘 [命令文]
2 学期	Lesson 7 習慣について述べる [3 単現] Lesson 8 身の回りの数量[疑問詞 (how many / when / where)] Lesson 9 今、何をしているかを伝える [現在進行形・代名詞の目的格] Lesson 10 何をしたかを伝える [過去形 (規則動詞)]
3 学期	Lesson 11 何が起きたかを伝える [過去形 (不規則動詞)] Lesson 12 どこで何があったかを伝える [過去進行形] Lesson 13 予定、意図や予測を伝える [未来形]
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。定期考査の配点：A 問題 (思考 50 点) B 問題 (判断 30 点) C 問題 (表現 20 点)	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当て、授業で取り上げた内容に関連のある文章を扱う。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学1年	グローバル選抜探究	英語	英語(イマージョン)	2
教科書・教材				
プログラミング学習教材『V-Code』				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>プログラミング学習教材『V-Code』を活用し、英語×プログラミングの教科横断型授業を展開する。Minecraft をプログラミングすることで、ループ・変数・条件分岐・関数などの基本的なコーディング概念を学ぶ。また、インタラクティブなプロジェクトを構築することで、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。</p> <p>楽しく歌を歌い楽器を活用し演奏する。また、音楽の特徴や背景知識を英語で学ぶ。</p> <p>調理手順を理解することができる。また、簡単な調理を通して、日常生活で使える英語を用いて話すことができるようにする。</p>	
PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Unit 1 コードの取り出し方と検索方法 (コーディングと MEE) Unit 2 シーケンス概念 (チャットコマンドのコーディング) ボディーパーカッション・Rap 器具の名称・扱い方・簡単な調理のできるおやつ作り
2 学期	Unit 3 ループを使用したコードの繰り返しを避ける方法 (ループのコード) Unit 4 デバッグを学んでのトラブルシューティング (変数の作成) Unit 5 プログラムへの意思決定を追加 (If ステートメント) Unit 6 プログラミングでの関数を使用するタイミング (関数の概念) 楽器を活用した学習① (箏)・英語の楽曲 (英語の単語や楽曲の背景知識) 日常食と調理の基礎 1
3 学期	Unit 7 アイテムとプレイヤーの配置方法 (空間座標の概念) Unit 8 ネストされたループ (ループの概念) 楽器を活用した学習② (ギター) 日常食と調理の基礎 2
評価方法	
課題、授業への取り組み姿勢や製作品 (30%) により評価を行う。	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学1年	未来探究	英語	英語	6
教科書・教材				
『NEW CROWN 1』三省堂 『新中学問題集 標準編 中学1年』教育開発出版 『デキタス』株式会社城南進学研究社				

授業のねらい (年間指導目標)

TT(ティームティーチング)により授業を行う。

週3時間は『NEW CROWN 1』を用いて、音読活動を徹底し、英語の音声に慣れ親しみながら語彙・語法・文法を身につけさせる。特に動詞の基礎的な使い方について理解させる。演習としてデキタスを用いて、個別最適化学習も進めていく。

また『NEW CROWN』の進度に合わせて『新中学問題集 標準編』(教育開発出版)を用いながら、取り扱う文法・表現を使った文を書いたり話したりできるようにする。更に、会話を通して異文化に対する興味・関心を高める。

授業の進め方 (年間指導計画)

1 学期	英語の基本 Lesson 1 About Me [アルファベット (大文字・小文字)・be 動詞や一般動詞]
	Lesson 2 English Camp [助動詞 can や数字]
	Lesson 3 Our New Friend [疑問詞 what・who]
2 学期	Lesson 4 My Family, My Hometown [三人称単数現在形]
	Lesson 5 School Life in the U.S.A. [現在進行形]
	Lesson 6 Discover Japan [一般動詞の過去形]
	Lesson 7 Wheelchair Basketball [be 動詞の過去形・過去進行形]
3 学期	Lesson 8 Green Festival [未来の表現]

評価方法

定期考査(70%)と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢(30%)により評価を行う。定期考査の配点:A問題(思考50点)B問題(判断30点)C問題(表現20点)

備考

ルーブリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当て、授業で取り上げた内容に関連のある文章を扱う。

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学2年	グローバル選抜探究	英語	英語	9
教科書・教材				
主教材：『PROGRESS IN ENGLISH 21 REVISED BOOK1・2』 エデック 副教材：『PROGRESS IN ENGLISH 21 Book 1・2 WORK BOOK』 エデック 『PROGRESS IN ENGLISH 21 Book1・2 音声アプリ』 エデック 『デキタス』 城南進学研究社、『NEW CROWN 2』 三省堂				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>週7時間は『PROGRESS IN ENGLISH』を用いて、授業を行う。そのうち5時間は日本人教員が日常生活について、様々な場面における会話から心情や要点を理解できるようにする。また、週2時間はネイティブとのTT(ティームティーチング)で授業を行う。アクティビティを通じて、登場した表現を使えるようにする。家庭では『音声アプリ』や『デキタス』を使い、音読の量を増やしながら、既習事項の定着を図るとともに、個別最適化を目指す。</p> <p>さらに週2時間はプログラミング・音楽・家庭のイマージョン教育を行う(※イマージョン教育のシラバスを参照)。</p>	
PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<p>[BOOK1]</p> <p>Lesson 14 提案に対して相手の意向を尋ねる [物質名詞・否定疑問文] Lesson 15 数量について述べる [普通名詞・物質名詞の数量] Lesson 16 能力・勧告・義務を示す [助動詞] Lesson 17 人や物の存在を示す [There+be 動詞] Lesson 18 頻度、時間や程度について述べる [how+形容詞]</p>
2 学期	<p>Lesson 19 場所や時について詳しく述べる [前置詞句] Lesson 20 理由を聞いたり、答えたりする [SVOO・不定詞]</p> <p>[BOOK2]</p> <p>Lesson 1 状況を詳しく説明する [SVC・SVOC・未来進行形] Lesson 2 感動を伝えたり、理由や条件を示す [感嘆文・副詞節] Lesson 3 2つのものを比べる [比較]</p>
3 学期	<p>Lesson 4 3つ以上のものを比べて順位について述べる [最上級] Lesson 5 人や物について詳しく描写する [関係詞] Lesson 6 言動・希望について伝聞する [名詞節・不定詞]</p>
評価方法	
定期考査(70%)と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢(30%)により評価を行う。定期考査の配点：A問題(思考50点) B問題(判断30点) C問題(表現20点)	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当て、授業で取り上げた内容に関連のある文章を扱う。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学2年	グローバル選抜探究	英語	英語(イマージョン)	2
教科書・教材				
プログラミング学習教材『V-Code』				

授業のねらい (年間指導目標)

TT(ティームティーチング)により授業を行う。

プログラミング学習教材『V-Code』を活用し、英語×プログラミングの教科横断型授業を展開する。Minecraft をプログラミングすることで、ネストされた条件分岐・リファクタリング・アルゴリズム入門・関数などの発展的なコーディング概念を学ぶ。また、インタラクティブなプロジェクトを構築することで、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。

楽しく歌を歌い楽器を活用し演奏する。また、音楽の特徴や背景知識を英語で学ぶ。

調理を通して、日常生活で使える英語を用いて話すことができるようにする。

PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)

1 学期	Unit 9 文字列内の特定の単語の検索方法 (文字列の連結と分割) Unit 10 条件文とループ関数 (パラメータ関数の概念) Unit 11 条件分岐とループ関数 (デバッグプロセス) Unit 12 複数のパラメータを持つ関数 (パラメータを持つ関数を理解) 音楽を用いた紙芝居 簡単な日常食の作製 (簡単なワンプレート朝食作り)
2 学期	Unit 13 Makecode Builder の使用 (ビルダーの軌跡とマークを学ぶ) Unit 14 ネストされたループとネストされた条件分岐 (条件分岐を学ぶ) Unit 15 立体の作成 (数学とコーディングの関係を学ぶ) Unit 16 リファクタリング (リファクタリングの理解) 楽器を活用した学習③ (箏) (復習と応用奏法) 簡単な日常食の作製 (幼児のおやつ作り)
3 学期	Unit 17 配列の概要 (プログラミングにおける配列の概念を理解) Unit 18 アルゴリズム入門 (アルゴリズムの基本的なタイプの理解) 楽器を活用した学習④ (鍵盤楽器とギターのアンサンブル) 簡単な日常食の作製 (世界の小麦粉料理)

評価方法

課題、授業への取り組み姿勢や製作品 (30%) により評価を行う。

備 考

ループリックによる評価も含む。

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学2年	未来探究	英語	英語	7

教科書・教材

『NEW CROWN 2』三省堂
『新中学問題集 標準編 中学2年』教育開発出版
『デキタス』城南進学研究社

授業のねらい (年間指導目標)

TT(ティームティーチング)により授業を行う。

音読活動と英語でのやりとりに取り組み、英語の音声に慣れ親しみながら語彙・語法・文法を習得させる。人称、時制による動詞の変化を学習し、既習の動詞を使った文を聞いたり読んだりして理解することができるようにする。

『NEW CROWN 2』の進度に合わせて『新中学問題集 標準編』を用い、学習した文法・表現を含む文に習熟させる。また、授業で学習した内容を『デキタス』を用いて演習し、各自に合ったペースで学習に取り組むことができるようにする。

授業の進め方 (年間指導計画)

1学期	Lesson 1 Peter Rabbit [過去形、未来形、接続詞、助動詞[may]]
	Lesson 2 My Dream [不定詞]
	Lesson 3 Every Drop Counts [There is/are ～、動名詞、助動詞[must]]
2学期	Lesson 4 Uluru [助動詞、第4文型]
	Lesson 5 Things to Do in Japan [比較]
	Lesson 6 Tea from China [現在完了[継続]]
3学期	Lesson 7 Rakugo Goes Overseas [現在完了[完了・経験]]

評価方法

定期考査(70%)と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢(30%)により評価を行う。定期考査の配点:A問題(思考50点)B問題(判断30点)C問題(表現20点)

備考

ルーブリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当て、授業で取り上げた内容に関連のある文章を扱う。

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
中学3年	未来探究	英語	英語	7
教科書・教材				
『NEW CROWN 3』三省堂 『新中学問題集 標準編 中学3年』教育開発出版 『速読英単語 中学編』Z会 『デキタス』城南進学研究社				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>週7時間のうち、4時間は『NEW CROWN 3』を使って、音読活動を徹底し、英語の音声に慣れ親しみながら語彙・語法・文法を身につけることができるようにする。</p> <p>また3時間は『NEW CROWN 3』の進度に合わせて、『新中学問題集 標準編』を用いながら取り扱う文法・表現を使った文を書くことや、話すことができるようにする。</p> <p>授業のみならず、演習として『デキタス』を用いて、個別最適化学習も進めていく。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Lesson 1 Stand by Me [現在完了進行形]
	Lesson 2 Languages in India [受動態]
	Lesson 3 The story of Sadako [現在分詞・過去分詞]
2 学期	Lesson 4 The World's Manga and Anime [関係代名詞[主格]]
	Lesson 5 I Have a Dream [関係代名詞[目的格]]
	Lesson 6 Imagine to Act [仮定法過去]
3 学期	Lesson 7 For Our Future [間接疑問、SVOC]
評価方法	
定期考査(70%)と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢(30%)により評価を行う。定期考査の配点:A問題(思考50点)B問題(判断30点)C問題(表現20点)	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当て、授業で取り上げた内容に関連のある文章を扱う。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	グローバル選抜 探究	英語	英語コミュニケーション I	5
教科書・教材				
『CROWN English Communication I』三省堂『CROWN English Communication I サブノート』三省堂『スタディサプリ English』株式会社リクルート『速読英単語 入門編』Z会				
授業のねらい (年間指導目標)				
週3時間は『CROWN』を用い、TT(ティームティーチング)で授業を行う。日常的、社会的な話題について、多くの支援を活用しながら必要な情報を読み取り、概要を捉えることができるようにする。また英語で聞いたり読んだりしたことを基に、考えや気持ちなどを伝え合うことができるようにする。さらに週2時間は音楽・家庭・プログラミングのイマージョン教育を行う(※イマージョン教育・プログラミングのシラバスを参照)。『スタディサプリ English』の「リスニング・プラス」(Level 4)に適宜取り組み、最終的には自習できるよう指導する。				
CROWNによる授業の進め方 (年間指導計画)				
1 学期	Lesson 1 The Blue White Shirt 英語話者の和製英語に関する体験 (不定詞・動名詞)			
	Lesson 2 Does It Spark Joy? 部屋の片付けと”ときめく”持ち物 (現在完了・現在完了進行形・助動詞)			
	Lesson 3 Hatching the Egg of Hope 芸術の感じ方、楽しみ方 (関係代名詞・分詞の形容詞的用法・受動態)			
	Lesson 4 Digging into Mystery 縄文時代 (過去完了・過去完了進行形・関係代名詞 what・SVO(O=疑問詞節/if 節))			
2 学期	Lesson 5 Roots & Shoots 動物・人・環境(分詞構文・形式主語・同格)			
	Lesson 6 You and Your Smartphone スマートフォン(関係副詞・SVOC(C=原形不定詞・分詞))			
	Lesson 7 Living in Alaska 環境問題(seem to; it seems that・S is C(C=that 節)・SVC(C=分詞))			
	Lesson 8 Not So Long Ago 平和(仮定法過去・SVO1O2(O2=疑問詞節)・付帯状況の with)			
3 学期	Lesson 9 Our Lost Friend 大英博物館 (受動態の完了形・助動詞 be 過去分詞・関係代名詞の非制限用法)			
	Lesson 10 Good Ol' Charlie Brown 漫画(仮定法過去完了・過去の習慣・形式目的語)			
評価方法				
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。定期考査の配点：A 問題 (思考 50 点) B 問題 (判断 30 点) C 問題 (表現 20 点)				
備考				
ルーブリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当て、授業で取り上げた内容に関連のある文章を扱う。				

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	グローバル選抜 探究	英語	英語コミュニケーションI (イマージョン)	2
教科書・教材				
プログラミング学習教材『V-Code』				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>プログラミング学習教材『V-Code』を活用し、英語×プログラミングの教科横断型授業を展開する。Minecraft をプログラミングすることで、ループ・変数・条件分岐・関数などの基本的なコーディング概念を学ぶ。また、インタラクティブなプロジェクトを構築することで、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。</p> <p>楽しく歌を歌い楽器を活用し演奏する。また、音楽の特徴や背景知識を英語で学ぶ。</p> <p>調理手順を理解することができる。また、簡単な調理を通して、日常生活で使える英語を用いて話すことができるようにする。</p>	
PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Unit 1 コードの取り出し方と検索方法 (コーディングと MEE) Unit 2 シーケンス概念 (チャットコマンドのコーディング) 楽器を活用した学習① (音楽の知識) 器具の名称・扱い方・簡単な調理でできるおやつ作り
2 学期	Unit 3 ループを使用したコードの繰り返しを避ける方法 (ループのコード) Unit 4 デバッグを学んでのトラブルシューティング (変数の作成) Unit 5 プログラムへの意思決定を追加 (If ステートメント) Unit 6 プログラミングでの関数を使用するタイミング (関数の概念) 英語の楽曲 (英語の単語や楽曲の背景知識) 日常食と調理の基礎 1
3 学期	Unit 7 アイテムとプレイヤーの配置方法 (空間座標の概念) Unit 8 ネストされたループ (ループの概念) 楽器を活用した学習② (音楽の特徴や背景知識) 日常食と調理の基礎 2
評価方法	
課題、授業への取り組み姿勢や製作品 (30%) により評価を行う。	

備考
ループリックによる評価も含む。

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選抜	英語	英語コミュニケーションI	4
教科書・教材				
『CROWN English Communication I』三省堂『CROWN English Communication I サブノート』三省堂『スタディサプリ English』株式会社リクルート『Target1900』旺文社				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>日常的、社会的な話題について、多くの支援を活用しながら、目的に応じて必要な情報を読み取り、概要を捉えることができるようにする。また、聞いたり読んだりしたことを基に、考えや気持ちなどを伝え合うことができるようにする。週1時間はTT(ティームティーチング)に充て、アクティビティを通して英語での表現力を養い、テキストの内容理解を深める。スタディサプリ English の「リスニング・プラス」に適宜取り組み、最終的には自習できるよう指導する。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<p>Lesson 1 The Blue White Shirt 英語話者の和製英語に関する体験 (不定詞・動名詞)</p> <p>Lesson 2 Does It Spark Joy? 部屋の片付けと「ときめく」持ち物 (現在完了・現在完了進行形・助動詞)</p> <p>Lesson 3 Hatching the Egg of Hope 芸術の感じ方、楽しみ方 (関係代名詞・分詞の形容詞的用法・受動態)</p> <p>Lesson 4 Digging into Mystery 縄文時代 (過去完了・過去完了進行形・関係代名詞 what・SVO(O=疑問詞節/if 節))</p>
2 学期	<p>Lesson 5 Roots & Shoots 動物・人・環境(分詞構文・形式主語・同格)</p> <p>Lesson 6 You and Your Smartphone スマートフォン(関係副詞・SVOC(C=原形不定詞・分詞))</p> <p>Lesson 7 Living in Alaska 環境問題 (seem to; it seems that・S is C(C=that 節)・SVC(C=分詞))</p> <p>Lesson 8 Not So Long Ago 平和 (仮定法過去・SVO1O2(O2=疑問詞節)・付帯状況の with)</p>
3 学期	<p>Lesson 9 Our Lost Friend 大英博物館 (受動態の完了形・助動詞 be 過去分詞・関係代名詞の非制限用法)</p> <p>Lesson 10 Good Ol' Charlie Brown 漫画 (仮定法過去完了・過去の習慣・形式目的語)</p>
評価方法	
<p>定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。定期考査の配点: A 問題 (思考 50 点) B 問題 (判断 30 点) C 問題 (表現 20 点)</p>	
備考	
<p>ルーブリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当て、授業で取り上げた内容に関連のある文章を扱う。</p>	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	未来探究コース	英語	英語コミュニケーション I	3
教科書・教材				
『Big Dipper English Communication I』 数研出版 『Target1200』 旺文社 『スタディサプリ English』 株式会社リクルート				
授業のねらい (年間指導目標)				
基本的な4技能のスキルと読解のための基本的な文法を身につけることを目指す。授業ではテキストの音読を徹底して行う。毎回の授業では予め示しておいた重要なポイントについて小テストを実施する。また、週1時間はTT(チームティーチング)に充て、アクティビティを通して英語での表現力を養い、テキストの内容理解を深める。スタディサプリ English の課題にも積極的に取り組むよう指導する。				
授業の進め方 (年間指導計画)				
1 学期	Lesson 1 “Have a Good Day with a Good Breakfast” 朝食 (基本時制) Lesson 2 “A Mascot with a Mission” ゆるキャラ (SVC と SVO)			
	Lesson 2 “A Mascot with a Mission” ゆるキャラ (SVC と SVO) “Grammar for Expression 1” (文型・不定詞・動名詞) Lesson 3 “Two Kinds of Leadership” 2種類のタイプのリーダーシップ (受動態・関係代名詞・SVO/SVOC)			
2 学期	“Grammar for Expression 2” (分詞・文型・比較) Lesson 5 “AI Meets the Arts” AIによる芸術作品 (分詞・形式主語) Lesson 6 “What Is Happiness?” 幸福 (過去完了・関係副詞)			
	Lesson 6 “What Is Happiness?” 日本と世界の幸福度 (過去完了・関係副詞・図表読み取り) Lesson 7 “The Maldives: A Dream Destination?” 観光地が抱える問題 (使役動詞や知覚動詞、ask, tell などの SVOC)			
3 学期	“Grammar for Expression 4” (SVOC、関係詞、強調構文) Lesson 9 “From Recycle to Upcycle” (分詞構文・完了形・間接疑問文) ディスコース・マーカーの使い方			
評価方法				
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。定期考査の配点: A 問題 (思考 50 点) B 問題 (判断 30 点) C 問題 (表現 20 点)				
備考				
ルーブリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当て、授業で取り上げた内容に関連のある文章を扱う。				

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	グローバル選抜 探究	英語	論理・表現 I	2
教科書・教材				
『CROWN Logic and Expression I』三省堂 『ENGLISH GRAMMAR IN USE』CAMBRIDGE 『スタディサプリ』株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>『ENGLISH GRAMMAR IN USE(以下 EGIU)』を用い、英文法を英語のニュアンス、使用する場面とともに理解させる。また『CROWN』を用いて、英会話・スピーチ・プレゼンテーション・ライティング・ディスカッションに取り組みさせる。またそのスキルを活かして、GTEC 等でも対応できる力を養う。</p> <p>授業内ではアウトプット（表現を使っていくこと）をするが、家庭学習においては『スタディサプリ』を活用し、個別最適化学習も進めていく。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<p>CROWN: Lesson 1 『人生、生き方』スピーチの基本 (時制) EGIU: Unit 1~6 Present and past (現在形と過去形)</p> <p>CROWN: Lesson 1 『人生、生き方』スピーチの実践 (時制) EGIU: Unit 7~18 Present perfect and past (現在完了形と過去形)</p>
2 学期	<p>CROWN: Lesson 2 『食生活と健康』プレゼンテーションの基本 (助動詞) EGIU: Unit 26~37 Modals (法助動詞)</p> <p>CROWN: Lesson 3 『日本文化』ライティングの基本 (受動態) EGIU: Unit 38~41 if and wish (if と with) Unit 42~46 Passive (受動態)</p>
3 学期	<p>CROWN: Lesson 4~5 『環境問題』ディスカッションの基本 (不定詞・動名詞) EGIU: Unit 53~63 -ing and to...(・ing と to~)</p>
評価方法	
<p>定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。定期考査の配点: A 問題 (思考 50 点) B 問題 (判断 30 点) C 問題 (表現 20 点)</p>	
備考	
<p>ルーブリックによる評価も含む。</p>	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選抜	英語	論理・表現 I	2
教科書・教材				
『Big Dipper English Logic and Expression I』 数研出版 『英文法基礎 10 題ドリル』 駿台文庫 『スタディサプリ』 株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>授業内で音読はもちろんのこと、アクティビティ・さまざまなジャンルの問題などを通じて、自分の考えを書くことや、発表することができるようにする。またそのスキルを活かして、GTEC 等でも対応できる力を養う。</p> <p>授業内ではアウトプット（表現を使っていくこと）をするが、家庭学習においては『スタディサプリ』を活用し、個別最適化学習も進めていく。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Part 1 Lesson 1-Lesson 5 (be 動詞、一般動詞、There ~の文、現在進行形、過去進行形) 日常生活や天候、身の回りのこと、予定や計画について表現できるようになる
	Part 1 Lesson 6-Lesson 10 (未来形、現在完了、過去完了、助動詞) 自分の町や身の回りの状況、学校での生活や催し物・活動、感情に関連する事柄などについて表現できる
2 学期	Part 1 Lesson 11-Lesson 15 (受動態、不定詞、動名詞、分詞) 希望や目標・趣味、助言や頼み事、休暇での出来事、方法について表現できる
	Part 1 Lesson 16-Lesson 19 (比較、関係代名詞、関係副詞) 特徴や行動・学校での活動について他と比較して表現できる 人や場所・時などについて、簡単な説明を加えて表現できる
3 学期	Part 1 Lesson 20-Part 2 Lesson 3 (仮定法、接続詞) 自分の願望や勧誘・提案、依頼、理由を述べるができる
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。 定期考査の配点：A 問題 (思考 50 点) B 問題 (判断 30 点) C 問題 (表現 20 点)	
備考	
ルーブリック評価を含める。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	未来探究	英語	論理・表現 I	2
教科書・教材				
『Big Dipper English Logic and Expression I』数研出版 『Big Dipper English Logic and Expression I ワークブック』数研出版 『スタディサプリ』株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>音読活動を徹底し、授業内で取り扱った英文が自分のものになるようにさせるだけでなく、様々なアクティビティや英作練習を通じて、自分の考えを書いたり、発表したりできるようにさせる。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Part 1 Lesson 1-Lesson 6 (be 動詞、一般動詞、There ~の文、現在進行形、過去進行形、未来形) 日常行うことや天候、身の回りのこと・身の回り的人、予定や計画について表現できるようになる
	Part 1 Lesson 7-Lesson 11 (現在完了、過去完了、助動詞、受動態) 自分の町や身の回りの状況、学校での生活や催し物・活動、感情に関連する事柄について表現できるようになる
2 学期	Part 1 Lesson 12-Lesson 15 (不定詞、動名詞、分詞) 希望や目標・趣味、助言や頼み事、休暇での出来事、物事の行い方について表現できるようになる
	Part 1 Lesson 16-Lesson 19 (比較、関係代名詞、関係副詞) 特徴や行動・学校での活動について他と比較して表現できるようになる 人や場所・時などについて、簡単な説明を加えて表現できるようになる
3 学期	Part 1 Lesson 20-Part 2 Lesson 4 (仮定法、接続詞) 自分の願望や勧誘・提案を表現することができる
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。 定期考査の配点：A 問題 (思考 50 点) B 問題 (判断 30 点) C 問題 (表現 20 点)	
備考	
平常点にはルーブリック評価も含める。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	グローバル選抜 探究コース	英語	英語コミュニケーション I	6
教科書・教材				
『CROWN English Communication II』三省堂 『CROWN English Communication II サブノート』三省堂 『スタディサプリ English』株式会社リクルート 『速読英単語 入門編』Z会				
授業のねらい (年間指導目標)				
週4時間は『CROWN』を用い、TT(ティームティーチング)により授業を行う。日常的、社会的な話題について、多くの支援を活用しながら必要な情報を読み取り、概要を捉えることができるようにする。また英語で聞いたり読んだりしたことを基に、考えや気持ちなどを伝え合うことができるようにする。さらに週2時間は音楽・家庭・プログラミングのイマージョン教育を行う(※イマージョン教育・プログラミングのシラバスを参照)。『スタディサプリ English』の「リスニング・プラス」(Level 5 以上)・「共通テスト対策講座」に適宜取り組み、最終的には自習できるよう指導する。				
CROWN による授業の進め方 (年間指導計画)				
1 学期	Lesson 1 Lost in Translation 言語・異文化 (不定詞・動名詞)			
	Lesson 2 One Book Can Empower a Child 教育・国際貢献 (不定詞・動名詞)			
	Lesson 3 Accessible Japan 障害者のために活動するエッセイ (分詞構文)			
2 学期	Lesson 4 Crossing the Border 「国境なき医師団」での体験 (関係副詞・不定詞+前置詞)			
	Lesson 5 Mental Toughness スポーツにおけるメンタルタフネス (前置詞+関係代名詞・無生物主語)			
	Lesson 6 Walking in Gaudi's Footsteps サグラダ・ファミリアの主任彫刻家 (助動詞・whether 節)			
	Lesson 7 Why Biomimicry? 科学技術・環境 (仮定法)			
3 学期	Lesson 8 Invisible No Longer 平和 (be to 不定詞・結果を表す不定詞)			
	Lesson 9 Nudges 人々の手助けをする仕組み (未来進行形・未来完了形・受け身の進行形)			
	Lesson 10 Are We Alone? 地球外生命体の探索 (独立分詞構文・倒置)			
評価方法				
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。 定期考査の配点 : A 問題 (思考 50 点) B 問題 (判断 30 点) C 問題 (表現 20 点)				
備考 ルーブリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当て、授業で取り上げた内容に関連のある文章を扱う。				

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	グローバル選抜 探究	英語	英語コミュニケーションI (イマージョン)	2
教科書・教材				
プログラミング学習教材『V-Code』				

授業のねらい (年間指導目標)

TT(ティームティーチング)により授業を行う。

プログラミング学習教材『V-Code』を活用し、英語×プログラミングの教科横断型授業を展開する。Minecraft をプログラミングすることで、ネストされた条件分岐・リファクタリング・アルゴリズム入門・関数などの発展的なコーディング概念を学ぶ。また、インタラクティブなプロジェクトを構築することで、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。

楽しく歌を歌い楽器を活用し演奏する。また、音楽の特徴や背景知識を英語で学ぶ。

調理手順を理解することができる。また、簡単な調理を通して、日常生活で使える英語を用いて話すことができるようにする。

PROGRESS IN ENGLISH による授業の進め方 (年間指導計画)

1 学期	Unit 9 文字列内の特定の単語の検索方法 (文字列の連結と分割) Unit 10 条件文とループ関数 (パラメータ関数の概念) Unit 11 条件分岐とループ関数 (デバッグプロセス) Unit 12 複数のパラメータを持つ関数 (パラメータを持つ関数を理解) 音楽を用いた紙芝居 簡単な日常食の作製 (簡単なワンプレート朝食作り)
2 学期	Unit 13 Makecode Builder の使用 (ビルダーの軌跡とマークを学ぶ) Unit 14 ネストされたループとネストされた条件分岐 (条件分岐を学ぶ) Unit 15 立体の作成 (数学とコーディングの関係を学ぶ) Unit 16 リファクタリング (リファクタリングの理解) 楽器を活用した学習③ (箏) (復習と応用奏法) 簡単な日常食の作製 (幼児のおやつ作り)
3 学期	Unit 17 配列の概要 (プログラミングにおける配列の概念を理解) Unit 18 アルゴリズム入門 (アルゴリズムの基本的なタイプの理解) 楽器を活用した学習④ (鍵盤楽器とギターのアンプ) 簡単な日常食の作製 (世界の小麦粉料理)

評価方法

課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。

備考

ルーブリックによる評価も含む。

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選抜	英語	英語コミュニケーションⅡ	6
教科書・教材				
『Crown English Communication Ⅱ』三省堂 『速読英単語 入門編』Z会 『スタディサプリ English』株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>基本的な4技能のスキルと読解のための文法を身につけさせる。週4時間の日本人教員のみの授業では、音読を徹底して行い、ディクテーションと反訳トレーニングも重点的に行う。週2時間のTT(ティームティーチング)では、アクティビティを通して英語での表現力を養い、テキストの内容理解を深める。また、スタディサプリ English で個別学習に取り組ませる。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	<p>Lesson 1 Lost in Translation 言語・異文化 (不定詞・動名詞)</p> <p>Lesson 2 One Book Can Empower a Child 教育・国際貢献 (不定詞・動名詞)</p> <p>Lesson 3 Accessible Japan 障害者のために活動するエッセイ (分詞構文)</p> <p>Lesson 4 Crossing the Border 「国境なき医師団」での体験 (関係副詞・不定詞+前置詞)</p>
2 学期	<p>Lesson 5 Mental Toughness スポーツにおけるメンタルタフネス (前置詞+関係代名詞・無生物主語)</p> <p>Lesson 6 Walking in Gaudi's Footsteps サグラダ・ファミリアの主任彫刻家 (助動詞・whether 節)</p> <p>Lesson 7 Why Biomimicry? 科学技術・環境 (仮定法)</p> <p>Lesson 8 Invisible No Longer 平和 (be to 不定詞・結果を表す不定詞)</p>
3 学期	<p>Lesson 9 Nudges 人々の手助けをする仕組み (未来進行形・未来完了形・受け身の進行形)</p> <p>Lesson 10 Are We Alone? 地球外生命体の探索 (独立分詞構文・倒置)</p>
評価方法	
<p>定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。定期考査の配点: A 問題 (思考 50 点) B 問題 (判断 30 点) C 問題 (表現 20 点)</p>	

備考
<p>ループリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当て、授業で取り上げた内容に関連のある文章を扱う。</p>

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	未来探究	英語	英語コミュニケーションⅡ	6
教科書・教材				
『Big Dipper English Communication II』 数研出版 『速読英単語 入門編』 Z会 『スタディサプリ English』 株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
1年生で学習した基本的な4技能のスキルと読解のための文法の定着を目指す。授業ではテキストの音読を徹底して行うとともに、1年生と同じ要領で小テストを実施する。週4時間はTT(ティームティーチング)に充て、テキストの内容に沿った英語でのプレゼンを毎学期行い、聞く・書く・話す力を養う。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1学期	Lesson 1 Why Don't You Come to School in Pajamas? 海外の学校生活 (受動態・to不定詞) Lesson 2 Is Seeing Believing? 「だまし絵」と錯視 (関係代名詞・完了形) Lesson 3 Do You Get Enough Sleep? 睡眠 (仮定法・関係詞) Lesson 4 Do You Want to Speak English like a Native Speaker? 国際語としての英語の多様性 (名詞節を使ったSVOO)
2学期	Lesson 5 Universal Design: Convenient for All ユニバーサルデザイン (分詞構文・非制限用法の関係副詞) Lesson 6 Wakamiya Masako: The World's Oldest Game App Developer 81歳にしてゲームアプリを開発した女性 (SVCとSVOC・助動詞) Lesson 7 Learning from Nature 動物をヒントに開発された機械 (動名詞・to have p.p.) Lesson 8 The Wisdom of Preserving Food 保存食の魅力と可能性 (仮定法)
3学期	Lesson 9 The Sharing Economy: Something for Everyone? シェアリングエコノミー (未来完了・無生物主語) Lesson 10 Sand and Concrete: A Basis of Our Life 世界の砂不足 (複合関係代名詞・倒置)
評価方法	
定期考査(70%)と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢(30%)により評価を行う。定期考査の配点:A問題(思考50点)B問題(判断30点)C問題(表現20点)	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当て、授業で取り上げた内容に関連のある文章を扱う。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	グローバル選抜 探究コース	英語	論理・表現Ⅱ	3
教科書・教材				
『CROWN Logic and Expression II』三省堂 『ENGLISH GRAMMAR IN USE』CAMBRIDGE 『スタディサプリ』株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>週1時間はTT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>『ENGLISH GRAMMAR IN USE(以下 EGIU)』を用い、英文法を英語のニュアンス、使用する場面とともに理解させる。また『CROWN』を用いて、スピーチ・プレゼンテーション・パラグラフライティング・ディスカッションに取り組ませる。またそのスキルを活かして、GTEC 等でも対応できる力を養う。</p> <p>授業内ではアウトプット(表現を使っていくこと)をするが、家庭学習においては『スタディサプリ』を活用し、個別最適化学習も進めていく。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	CROWN: Lesson 2 『日本のポップカルチャーについて』感情を表す表現 EGIU: Unit 82~91 Pronouns and determiners (代名詞と限定詞)
	CROWN: Lesson 3 『メリット・デメリットについて』日本文化・異文化理解 EGIU: Unit 92~97 Relative clauses (関係代名詞) / Unit 69~72 Articles and nouns (冠詞と名詞)
2 学期	CROWN: Lesson 5 『フードロス』社会問題(例証/分類・列挙) EGIU: Unit 98~112 Adjective and adverbs (形容詞と副詞)
	CROWN: Lesson 7 『自国の料理について』料理・食文化(方法・様態/数量表現) EGIU: Unit 113~120 Conjunctions and prepositions (接続詞と前置詞)
3 学期	CROWN: Lesson 10 『留学してみたい国について』教育(比較・対象/譲歩) EGIU: Unit 137~145 Phrasal verbs (句動詞)
評価方法	
定期考査(70%)と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢(30%)により評価を行う。定期考査の配点:A問題(思考50点)B問題(判断30点)C問題(表現20点)	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選抜・未来探究	英語	選択探究演習・ 総合英語 I	2
教科書・教材				
『Wonderland 2』 いいずな書店				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>大学入試における長文読解に向けて、パラグラフ構成などを意識しながら、必要な情報を読み取れるようにする。また、4技能の伸張に全体的に取り組めるようにする。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Unit 1～3 「物語・生物・起源」に関する文章 (文型・時制・完了形)
	Lesson 4～6 「寓話・起源・社会」に関する文章 (完了形・助動詞・受動態)
2 学期	Lesson 7～9 「社会・伝記・地理」に関する文章 (不定詞・動名詞)
	Lesson 10～12 「生物・歴史・環境」に関する文章 (分詞・比較・関係代名詞)
3 学期	Lesson 13～15 「小話・社会・物語」に関する文章 (関係代名詞・接続詞・代名詞)
評価方法	
定期考査(70%)と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢(30%)により評価を行う。定期考査の配点:A問題(思考50点)B問題(判断30点)C問題(表現20点)	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選抜	英語	英語コミュニケーションⅢ	4

教科書・教材

『Heartening English Communication Ⅲ』桐原書店 『速読英単語 必修編』Z会
『スタディサプリ English』株式会社リクルート

授業のねらい (年間指導目標)

基本的な4技能のスキルと読解のための文法を身につけさせる。週3時間の日本人教員のみの授業では、音読を徹底して行い、ディクテーションと反訳トレーニングも重点的に行う。週1時間のTT(ティームティーチング)では、アクティビティを通して英語での表現力を養い、テキストの内容理解を深める。また、スタディサプリ English で個別学習に取り組みさせる。

授業の進め方 (年間指導計画)

1学期	Reading & Writing Strategy 1~9 Lesson 1 What Makes Up Your Identity? 心理学・多様性「」に関する文章
	Lesson 2 Predicting Future Technology 「科学技術」に関する文章 Lesson 3 The Science of Sleep 「生理学」に関する文章
	Lesson 4 Diversity and Inclusion 「異文化理解・多様性」に関する文章 Lesson 5 Protein Crisis 「食糧問題」に関する文章 Lesson 6 Different Types of Happiness 「幸福論・多様性」に関する文章 Lesson 7 Pros and Cons of Utilizing AI 「科学技術・倫理学」に関する文章
3学期	Lesson 10 Medical Ethics During a Pandemic 「医学・倫理学」に関する文章

評価方法

定期考査(70%)と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢(30%)により評価を行う。定期考査の配点:A問題(思考50点)B問題(判断30点)C問題(表現20点)

備考

ルーブリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当て、授業で取り上げた内容に関連のある文章を扱う。

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	未来探究	英語	英語コミュニケーションⅢ	5
教科書・教材				
『BIG DIPPER English CommunicationⅢ』数研出版 『速読英単語必修編』Z会 『スタディサプリ English』株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
音読を中心に行いつつ、各題材について読み、聞き、話し、書く活動をバランスよく行う。指示語に留意し、説明文、論説文ではさらに論理展開に慣れさせる。毎週単語テストを通して、一度に覚えられる語数を確認しながら、語彙力を増強する。週3時間はTT(ティーム・ティーチング)により授業を行う。	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Section 1 : Lesson 1~9 食文化、環境、健康、討論、歴史、コミュニケーション、娯楽、ウェブサイト、自然、異文化理解 パラグラフ構成やつなぎ語を意識して 200 語程度の英文を読み、意見を伝える
	Section 1 : Lesson 10~14 芸術、リーフレット、心理、経済、新聞記事 パラグラフ構成やつなぎ語を意識して 200 語程度の英文を読み、意見を伝える
	Section 2 : Lesson 15, 16 スポーツ、言語、文化 文章構造を意識して 350~400 語程度の英文を読み、様々な発信活動に取り組む
2 学期	Section 2 : Lesson 17~20 環境、教育、社会問題、メディア、倫理、健康、歴史 文章構造を意識して 350~400 語程度の英文を読み、様々な発信活動に取り組む
	Section 3 : Lesson 21~23 技術、社会、歴史、人権、防災 450 語を超える長さの英文や様々な形式の情報を基にして、考えを深める
3 学期	Section 3 : Lesson 24 科学、倫理 450 語を超える長さの英文や様々な形式の情報を基にして、考えを深める
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。定期考査の配点 : A 問題 (思考 50 点) B 問題 (判断 30 点) C 問題 (表現 20 点)	
備考	
ループリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当て、授業で取り上げた内容に関連のある文章を扱う。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	音楽科	英語	英語コミュニケーションⅢ	4
教科書・教材				
『BIG DIPPER English CommunicationⅢ』 数研出版 『速読英単語必修編』 Z会 『スタディサプリ English』 株式会社リクルート				

音読を中心に行いつつ、各題材について読み、聞き、話し、書く活動をバランスよく行う。指示語に留意し、説明文、論説文ではさらに論理展開に慣れさせる。毎週単語テストを通して、一度に覚えられる語数を確認しながら、語彙力を増強する。週1時間はTT(ティームティーチング)により授業を行う。

授業の進め方 (年間指導計画)

1 学期	Section 1 : Lesson 1~9 食文化、環境、健康、討論、歴史、コミュニケーション、娯楽、ウェブサイト、自然、異文化理解 パラグラフ構成やつなぎ語を意識して 200 語程度の英文を読み、意見を伝える
	Section 1 : Lesson 10~14 芸術、リーフレット、心理、経済、新聞記事 パラグラフ構成やつなぎ語を意識して 200 語程度の英文を読み、意見を伝える
	Section 2 : Lesson 15, 16 スポーツ、言語、文化 文章構造を意識して 350~400 語程度の英文を読み、様々な発信活動に取り組む
2 学期	Section 2 : Lesson 17~20 環境、教育、社会問題、メディア、倫理、健康、歴史 文章構造を意識して 350~400 語程度の英文を読み、様々な発信活動に取り組む
	Section 3 : Lesson 21~23 技術、社会、歴史、人権、防災 450 語を超える長さの英文や様々な形式の情報を基にして、考えを深める
3 学期	Section 3 : Lesson 24 科学、倫理 450 語を超える長さの英文や様々な形式の情報を基にして、考えを深める
評価方法	
定期考査 (70%) と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢 (30%) により評価を行う。定期考査の配点 : A 問題 (思考 50 点) B 問題 (判断 30 点) C 問題 (表現 20 点)	
備考	
ループリックによる評価も含む。また、月に1時間をサマライズタイムに当て、授業で取り上げた内容に関連のある文章を扱う。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選抜	英語	論理・表現Ⅱ	3
教科書・教材				
『BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅡ』 数研出版 『スタディサプリ』 株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>授業内で音読はもちろんのこと、アクティビティ・さまざまなジャンルのテーマなどを通じて、自分の意見や主張を適切に述べるためのスキルを身につけることができるようにする。また、そのスキルを活かして、GTEC・英検などにも対応できる力を養う。</p> <p>授業内には、アウトプット（表現を使っていくこと）をするが、家庭学習においては『スタディサプリ』を活用し、表現力や文法等における個別最適化学習も進めていく。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Part 1 Lesson 1-Lesson 5 be 動詞、未来形、完了形、過去形、受動態、パラグラフの型の意識 存在、未来の予定・計画、経験や継続している活動、過去の状態や習慣・推量、文化について表現できるようになる
	Part 1 Lesson 6-Lesson 10 使役動詞、不定詞、動名詞、分詞、パラグラフの展開（時間的順序、例証） 活動への参加、過去の活動や経歴・状況、自分の好きな活動・持ち物、野外での活動・気晴らしについて表現できるようになる
2 学期	Part 1 Lesson 11-Lesson 16 比較、関係詞、仮定法、時制の一致、パラグラフの展開（比較・対照、原因と結果）、エッセイライティング 様々な最上級の事物、将来の仕事・家族、印象的な場所、自分の夢、願望、伝聞内容について表現することができる
	Part 2 Lesson 1-Lesson 6 インタビュー、ダイアログ、ディスカッション 好き嫌い、希望・欲求、賛成・反対、勧誘・招待、期待、計画・意図、提案・助言を述べるることができる
3 学期	Part 2 Lesson 7-Lesson 8 サマリーライティング、ブログ、ダイアログ 程度・譲歩、依頼・要請を述べるることができる
評価方法	
定期考査（70%）と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢（30%）により評価を行う。定期考査の配点：A 問題（思考 50 点）B 問題（判断 30 点）C 問題（表現 20 点）	
備考	
ルーブリック評価を含める。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	未来探究	英語	論理・表現Ⅱ	3
教科書・教材				
『BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅡ』数研出版 『スタディサプリ』株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>授業内で音読はもちろんのこと、アクティビティ・さまざまなジャンルのテーマなどを通じて、自分の意見や主張を適切に述べるためのスキルを身につけることができるようにする。また、そのスキルを活かして、GTEC・英検などにも対応できる力を養う。</p> <p>授業内には、アウトプット（表現を使っていくこと）をするが、家庭学習においては『スタディサプリ』を活用し、表現力や文法等における個別最適化学習も進めていく。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Part 1 Lesson 1-Lesson 4 be 動詞、未来形、完了形、過去形、パラグラフの型の意識 存在、未来の予定・計画、経験や継続している活動、過去の状態や習慣・推量を表現できるようになる
	Part 1 Lesson 5-Lesson 8 受動態、使役動詞、不定詞、動名詞、パラグラフの展開（時間的順序、例証） 文化、活動への参加、過去の活動や経歴・状況、自分の好きな活動について表現できるようになる
2 学期	Part 1 Lesson 9-Lesson 12 分詞、比較、関係代名詞、仮定法、時制の一致、パラグラフの展開（比較・対照、原因） 自分の好きな持ち物、野外での活動・気晴らし、様々な最上級の事物、将来の仕事・家族について表現することができる
	Part 1 Lesson 13-Lesson 16 関係副詞、仮定法、時制の一致、エッセイライティング 印象的な場所、自分の夢、願望、伝聞内容について表現することができる
3 学期	Part 2 Lesson 1-Lesson 2 インタビュー、ダイアログ、ディスカッション 好き嫌い、希望・欲求を述べるができる
評価方法	
定期考査（70%）と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢（30%）により評価を行う。定期考査の配点：A 問題（思考 50 点）B 問題（判断 30 点）C 問題（表現 20 点）	
備考	
平常点にはルーブリック評価も含める。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	音楽科	英語	論理・表現Ⅱ	3
教科書・教材				
『BIG DIPPER English Logic and ExpressionⅡ』 数研出版 『スタディサプリ』 株式会社リクルート				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>TT(ティームティーチング)により授業を行う。</p> <p>授業内で音読はもちろんのこと、アクティビティ・さまざまなジャンルのテーマなどを通じて、自分の意見や主張を適切に述べるためのスキルを身につけることができるようにする。また、そのスキルを活かして、GTECや英検などにも対応できる力を養う。</p> <p>授業内には、アウトプット(表現を使っていくこと)をするが、家庭学習においては『スタディサプリ』を活用し、表現力や文法等における個別最適化学習も進めていく。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Part 1 Lesson 1-Lesson 4 be 動詞、未来形、完了形、過去形、パラグラフの型の意識 存在、未来の予定・計画、経験や継続している活動、過去の状態や習慣・推量を表現できるようになる
	Part 1 Lesson 5-Lesson 8 受動態、使役動詞、不定詞、動名詞、パラグラフの展開(時間的順序、例証) 文化、活動への参加、過去の活動や経歴・状況、自分の好きな活動について表現できるようになる
2 学期	Part 1 Lesson 9-Lesson 12 分詞、比較、関係代名詞、仮定法、時制の一致、パラグラフの展開(比較・対照、原因) 自分の好きな持ち物、野外での活動・気晴らし、様々な最上級の事物、将来の仕事・家族について表現することができる
	Part 1 Lesson 13-Lesson 16 関係副詞、仮定法、時制の一致、エッセイライティング 印象的な場所、自分の夢、願望、伝聞内容について表現することができる
3 学期	Part 2 Lesson 1-Lesson 2 インタビュー、ダイアログ、ディスカッション 好き嫌い、希望・欲求を述べることができる
評価方法	
定期考査(70%)と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢(30%)により評価を行う。 定期考査の配点:A問題(思考50点) B問題(判断30点) C問題(表現20点)	
備考	
平常点にはルーブリック評価も含める。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選抜	英語	探究演習・ 総合英語Ⅱ	3
教科書・教材				
『UNITE STAGE 2』(数研出版)				

授業のねらい (年間指導目標)	
<p>入試における長文読解に向けて、パラグラフ構成などを意識しながら、必要な情報を読み取れるようにする。また、4技能の伸張に全体的に取り組めるようにする。</p> <p>週1時間はTT(ティームティーチング)により授業を行う。</p>	
授業の進め方 (年間指導計画)	
1 学期	Unit 1～3 「文化・医療・産業」に関する文章 (文型・時制・完了形)
	Lesson 4～7 「国際・歴史・テクノロジー」に関する文章 (助動詞・受動態・不定詞)
2 学期	Lesson 8～10 「心理・学問・農業」に関する文章 (動名詞・分詞・準動詞まとめ)
	Lesson 11～13 「観光・歴史・日常生活」に関する文章 (比較・関係詞)
3 学期	Lesson 14～15 「化学・学校生活」に関する文章 (仮定法)
評価方法	
定期考査(70%)と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢(30%)により評価を行う。定期考査の配点:A問題(思考50点)B問題(判断30点)C問題(表現20点)	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	

シラバス [英語科]

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選抜・未来探究	英語	選択論理・表現Ⅱ	2
教科書・教材				
『基礎力養成コア表現トレーニング』（旺文社）				
『コア表現トレーニング上級編』（旺文社）				

授業のねらい（年間指導目標）	
TT(ティームティーチング)により授業を行う。 モデル文を使ってスピーキングとライティングの練習を行い、幅広い表現力を身につけ、実際に使えるようにする。また、GTEC や英検などの検定試験に対応できる技能の養成を行う。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	基礎力 Unit 1～Unit 2 「イラストを描写する」ことができるようになる 「自分のことを述べる」ことができるようになる
	基礎力 Unit 3～Unit 4 「質問に答えて応答を行う」ことができるようになる 「客観的な意見を述べる」ことができるようになる
2 学期	基礎力 Unit 5 上級編 Unit 1～Unit 2 「情報を読み取る」ことができるようになる 「イラストを描写する」ことができるようになる
	上級編 Unit 3～Unit 4 「自分のことを述べる」ことができるようになる 「質問に答えて応答を行う」ことができるようになる
3 学期	上級編 Unit 5 「客観的な意見を述べる」ことができるようになる 「情報を読み取る」ことができるようになる 「イラストを描写する」ことができるようになる
評価方法	
定期考査（70%）と小テスト、課題、授業への取り組みおよびその姿勢（30%）により評価を行う。定期考査の配点：A 問題（思考 50 点） B 問題（判断 30 点） C 問題（表現 20 点）	
備考	
ルーブリックによる評価も含む。	